

都市ガスと環境

～家庭用燃料電池システム「エネファーム」の普及を通じて低炭素社会の実現に貢献～
「エネファーム※」とは

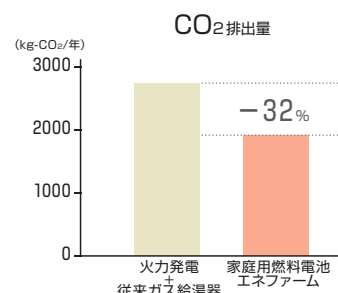
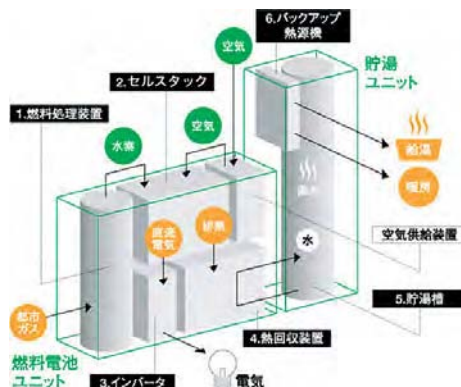
エネファームは、各家庭に送られる都市ガス（天然ガス）から取り出した水素を空気中の酸素と燃料電池（セルスタック）で化学反応させて発電し、その際に出る熱を給湯や暖房に利用するコージェネレーションシステムです。化石燃料を燃やす従来の発電方法とは異なり、化学反応で発電するので、CO₂排出量を抑え、発電効率も高い、エネルギーを無駄なく利用することができる特徴を持った新しい発電システムです。

さらに、次世代に向けたクリーンな発電システムとして注目されている、太陽光発電とエネファームを組み合わせるダブル発電システムはさらなる省エネ、省CO₂が可能となります。



エネファーム
(700W)

※エネファーム ネーミングの由来（業界統一名称）
「エネルギー」と「ファーム（農場）」を組み合わせた造語で、水素と酸素から電気と熱を作ることと、水と大地で農作物を作ることが似ていることから、「自分のエネルギーを自分で作る」というこれからのエネルギーに対する考え方を表現したもの



※出典：平成19年度定置用燃料電池大規模実証事業報告会資料
[CO₂排出係数/都市ガス 0.05125kg-CO₂/MJ、電気：0.619kg-CO₂/kWh]

「エネファーム」の市場投入にあたり

2009年7月23日（木）「エネファーム」の披露式典を開催しました。中国経済産業局、広島県、広島市、広島消費者協会の方々をはじめ、住宅メーカー関係者など約100名の皆さまにご来場いただき、本格的な販売のスタートを切りました。



Interview

取締役 常務執行役員
(エネルギー事業部長)

上総 英司



お客さま先での
CO₂排出量の
一層の削減に向けて
(家庭部門における
地球温暖化対策)

広島ガスでは、これまで、他の化石燃料に比べ環境負荷の低い天然ガスの普及拡大を通じて、お客さま先でのCO₂排出削減に取り組んできました。

こうした取り組みに加え、2009年7月から「エネファーム」の市場投入を開始しました。「With Earth. With GAS. 100年目のエネルギー革命」という壮大なキャッチコピーの下、エネファームの普及拡大を通じ、地球という大きな命を守っていきたくと考えています。

Comment

社団法人 広島消費者協会
会長

中原 律子さん



エネファームの普及拡大に期待

「エネファーム」披露式典において、「エネルギーを使う家から、創る家へ」というフレーズを聞き、感銘を受けました。「エネルギーは買って使うもの」という概念から、家庭の消費エネルギーの

大半を占める電気と熱を「自宅で作る出す」、まさに「エネルギーの地産地消」が可能となったことに先進性を感じます。

私たちは、これまで地球温暖化防止の観点から、省エネ等を主体としたエコ活動に取り組んできましたが、今注目されている2020年までのCO₂等の必要削減量の動向を踏まえると、従来の取り組みの延長では限界があります。その意味で、従来に比べCO₂排出量を約30%削減できるエネファームには、大きな可能性を感じます。

今後は、販売価格の一層の低減と先進性・環境性を絡めた啓発活動による普及拡大を図り、家庭部門の温暖化対策に貢献していただくよう期待しています。